

仕事に関する本



- ① ヨシタケシンスケ 集英社
「おしごとそุดんセンター」
地球上に不時着した宇宙人がやってきたのは、風変わりな職業相談所のスタッフと一緒に、働くことの意味を考え…。「仕事」の意味を問い合わせし、明日をちょっと明るくする、ヨシタケ版“ハローワーク”ストーリー。



- ② 三上 ナナエ 大和出版
「一生使える「敬語&ビジネスマナー」」
尊重する気持ちが伝わる「挨拶・敬語」、第一印象で損をしない「身だしなみ・ふるまい」、失礼にならない「メール・文書作成」、人前での恥をかかない「会食・冠婚葬祭のマナー」…。好印象を与えるマナーのコツを伝授する。



- ③ 朝井 リョウ 集英社
「発注いただきました！」
キャラメルが登場する掌編、「ウイスキーっておもしろい」を伝えられる小説、「女性と香り」にまつわるミニエッセイもしくは小説…。企業からのお題をもとに書いた作品を、解説とともに収録する。



- ④ 鈴木 進介 日本実業出版社
「すぐやる人の頭の使い方」
やる気に頼るのは「神頼み」と同じ。すぐやる人がやる気だけに頼らず、どのような頭の使い方をしているのかを説明しつつ、普段でも使えるちょっとした43のコツを紹介する。



- ⑤ 碧野 圭 U-NEXT
「レイアウトは期日までに」
職を失ったデザイナー・赤池めぐみが就職したのは、天才、気まぐれと噂話の絶えない業界の有名人、装丁家・桐生青のところだった。あこがれていた同年代のスターと一緒に仕事をできると胸をはずませためぐみが直面したのは…。

自分を好きになる本



- ⑥ 稲葉 将太 KADOKAWA
「変だね」はホメ言葉
何をしてもうまくいかない、自分に自信が持てない、このままの人生でいいのか不安…。そんな人に向けて、歯科医としての経験、SNSでの発信を通じて得た気づき、自分を大切にしながら人生を切り拓くための思考法を熱く語る。



- ⑦ チャールズ・M・シュルツ リベルラ社
「心によりそうヌヌピー」
「過去の喜びを再体験しよう」「批評は真に受けなくていい」…。悩みがあつても、それぞれのやり方で自分らしく、前を向いて生きているヌヌピーの仲間たちから、不安やモヤモヤをなくすヒントを学ぶ。



- ⑧ 井上 裕之 飛鳥新社
「自己中のススメ」
嫌われたくない、みんなとうまくやらなきゃ…。それは、あなたの本心？笑顔の仮面をかぶっていない？自然体のままで愛され、しあわせに生きる方法を、物語形式で提案します。



- ⑨ 田中 よしこ 文芸春秋
「私は私を幸せにできる」
生き辛さの原因は「自分の無意識の中」にある。無意識を整えて思考の歪みを解消する方法を、脳科学等のメソッドを使い解説する。



- ⑩ 考えるOL KADOKAWA
「がんばらないことをがんばるって決めた。」
今日も会社に行けなかった。まあいいか。生きてるし。不幸なわけじゃない、でも毎日どこかモヤモヤする…。そんな社会人に贈る、ありのままの人生をゆるやかに生きるためのヒント。

教養が身につく本



- ⑪ 中野 晃一 朝日新聞出版
「ざっくりわかる8コマ日本の政治」
どんな人が政治をするの？国会の仕事って何？選挙の仕組みはどうなっている？法律はどうやってつくられる？楽しい8コママンガを入口に「日本の政治」についてざっくり学べる入門書。



- ⑫ 河合 敦 JTBパブリッシング
「オモシロ日本史」
日本史の常識をアップデートしよう！“イイクニつくろう鎌倉幕府”はもう古い？「利休は切腹せずに生きていた？」など、1話3分で読める48話の歴史ネタを紹介する。



- ⑬ 谷内えみ ダイヤモンド社
「育ちがいい人だけが知っていること」
「育ちの良さ」は、美人を超える一生の武器。「美しいお辞儀の仕方」「雨の日のすれ違い方」「常に新札を準備しておく」など、「育ちがいい人」が身につけている、ふるまいと心遣いを伝授する。



- ⑭ 池上彰 Gakken
「新 行動経済学入門」
あぶく銭ほど散財してしまうのはなぜ？「成功率95%」と「失敗率5%」の違いは？人を操る魔法の理論「ナッジ」とは？池上彰が、人間の行動心理を読み解く行動経済学をわかりやすく解説する。



- ⑮ 呂玉克順 学研プラス
「世界でいちばんやさしい教養の教科書」
先人の思考を学ぶことは今や未来を生き抜くヒント。歴史、哲学、経済、社会、芸術など、各分野の教養を時系列にそってストーリー化。たくさんのイラストやキーワード解説を駆使して、わかりやすく解説する。